

乗降ドアがホームにかかっていない状態でドアを開けた事象について

5月4日（月）10時12分頃、豊肥本線中判田（なかはんだ）駅において、上り普通列車の運転士が停止位置を誤って停車し、一部の車両の乗降ドアがホームにかかっていない状態でドアを開けました。ご利用のお客さまには大変ご迷惑をおかけいたしました。

なお、お客さまの転落及びお怪我等はありません。概況は下記の通りです。

記

- 1 発生日時 2026年5月4日（月）10時12分頃 ※運転士がドアを開けた時間
- 2 発生場所 豊肥本線 中判田（なかはんだ）駅
＜大分県大分市大字中判田 871-76＞
- 3 列車 上り普通列車 大分駅発中判田駅行き 2両編成（ワンマン） 乗車：約6名
（大分駅9時55分発～中判田駅10時12分着）
- 4 概況 5月4日（月）10時12分頃、豊肥本線中判田駅構内において、上り普通列車「大分駅発中判田駅行き（2両編成）」の運転士が停止位置を誤って停車し、最後部車両の乗降ドア1箇所がホームにかかっていない状態でドアを開けました。
同駅で降車されたお客さまは約6名いらっしゃいましたが、お客さまの転落及びお怪我等はありませんでした。
- 5 列車影響 当該列車の折り返しである大分駅行き（中判田駅10:29発）に約3分の遅延が発生しました。
- 6 原因 誤った停止位置に停車したことに気付かず、一部のドアがホームにかかっていない状態でドアを開ける操作を行ったため。
- 7 今後の対応 運転士に対する指導を徹底し、再発防止に努めてまいります。

以上